

第3ステージにおける「地域とともにある学校」の推進は大きなテーマです。その中心には『熟議』が求められています。犬飼町学校運営協議会では、まず生徒会役員が、コロナ禍のなかで苦労や工夫を凝らした学校行事について、プレゼンが行われました。学校の様子が分かりやすく説明されました。この会では、今後の参考となるような協議の活性化と『熟議』が見られました。以下紹介します。

令和3年2月9日（火）犬飼町学校運営協議会



ワークショップの説明  
青付箋:長所  
赤付箋:短所

## 各部のワークショップの様子



「豊かな心育成部」まとめ発表・共有

児童生徒の実態を交流するために  
付箋に記入して貼っています



## どんコミュニティネット組織図 (犬飼町学校運営協議会)

学びの支援組織

安心安全・ふるさと学習支援組織

学習指導部  
(小・中教職員)

豊かな心育成部  
(小・中教職員)



「学習指導部」まとめ発表・共有

学校の教育目標達成に向けて、自由な雰囲気では意見が出し合える会になっていました。また、十分協議の活性化がなされていました。今後学校としては、この会でも出された意見や要望を分析し、次年度の「学校評価の4点セット」に落とし込む作業を実施します。ひとつの『熟議』のモデルになるのではないかと考えます。